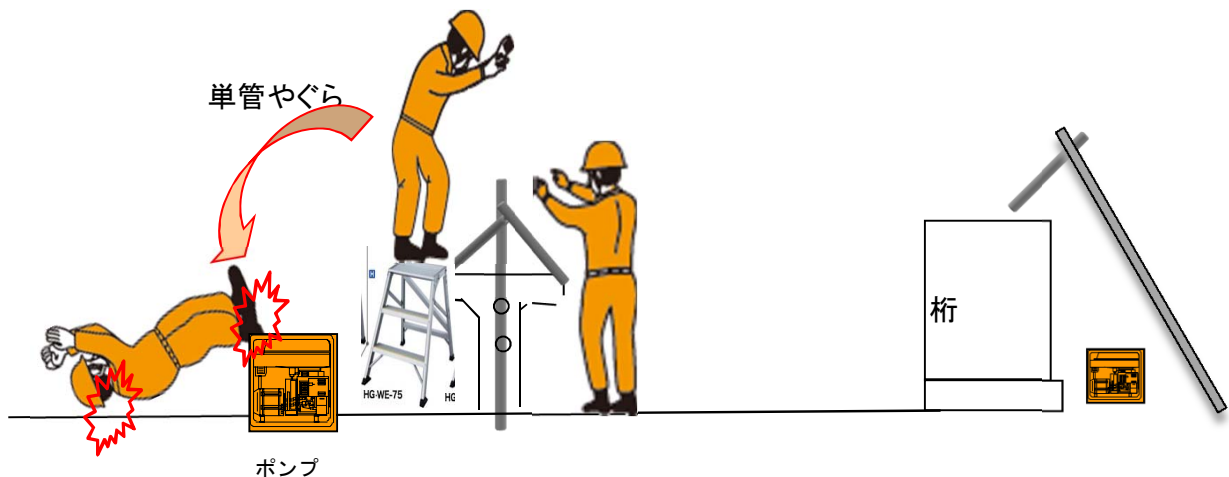


『PC鋼ケーブル組立中やぐらが倒れ、脚立に当り転倒』

発 生 年 月 平成 年12月
時 刻 9:15 頃
被 災 者 職長(66歳)
傷 病 名・部 位 腰及び右腕打撲、左眉毛の裂傷 (不休災害)

- ◎ 発生状況
1. 主桁の緊張作業を行うため、当日は準備作業で単管パイプでやぐらを組み、緊張用のジャッキを吊り下げた状態で、PCケーブルに座金をはめ込む作業を行っていた。
 2. 吊り下げていたジャッキを動かしていたところ、脚立に乗って作業をしていた被災者の方にやぐらが倒れ、被災者も脚立とともに転倒し負傷した。
 3. やぐらの設置が不安定で、また適切な作業床も確保していなかった。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業手順を見直し、ケーブル挿入時はビデ足場を使うこと。その際はジャッキベースを使用し、安定した状態で使用し手摺を取り付けること。
- ・安全な作業床の確保及び手摺の設置出来ない箇所は、親綱安全帯を使用する。親綱設置のための支柱を建込む時も、ビデ足場を使用する。
- ・やぐらの設置では、吊り荷の重量や作業方法を考慮し適切な組み方とする。